

■ 參考資料

1 景観市民懇談会のワークショップ色彩評価集約

(1) 色彩評価集約までの経緯

景観市民懇談会は、景観の勉強会や先進地の視察を経て、ワークショップにおいては主に色彩の評価集約を行いました。

①現地調査・色彩測定

- ・市内の住居系や商業・業務系施設などを現地調査し、カラーチャートを用いて色彩の測定を行った。
- ・測定は、住居系及び商業・業務系施設の外壁と屋根面を測定した。

②各委員の良い・悪いと感じる色彩の評価

- ・その測定結果をもとに、各委員において、住居系及び商業・業務系施設の外壁と屋根面の複数の色彩について、「良い」または「悪い」と感じる色彩の評価を行った。

③各班による評価集約

- ・各自が評価した色彩をもとに、新たためて各班において「良い」または「悪い」の評価集約を行った。

以上の過程を経て、上記③の各班による評価集約結果を以下に取りまとめます。なお、これらの資料は景観計画における色彩基準の手がかり資料として活用する予定です。

(2) 色彩トーンと区分

予め色彩の調和に相当する「トーン概念図」と、明度の低・中・高明度の範囲と彩度の低・中・高彩度の範囲を示す「色彩の低・中・高区分図」を示します。

●トーン概念図

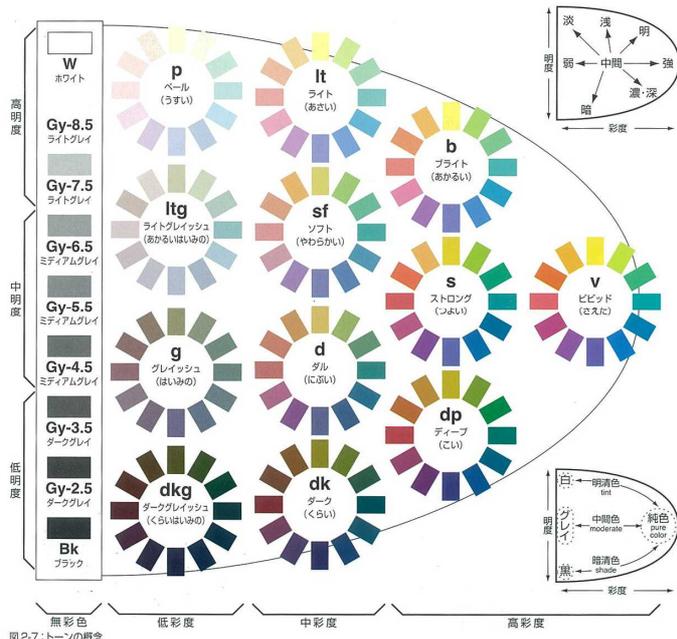
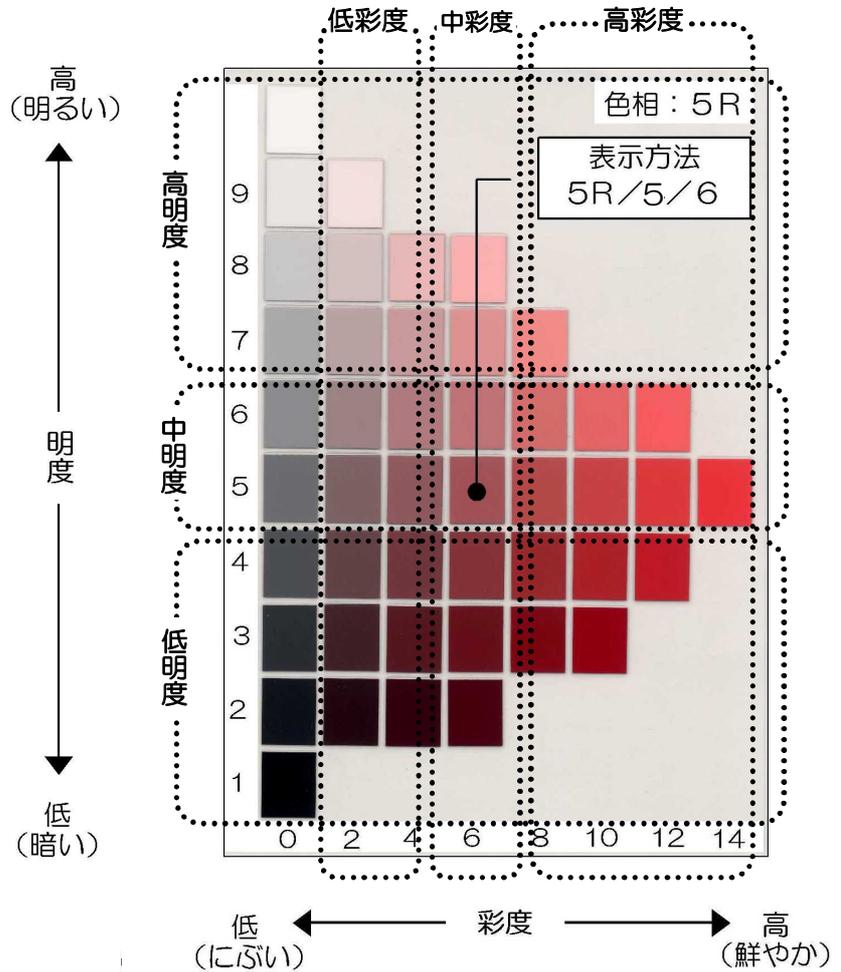


図2-7: トーン概念

●色彩の低・中・高区分図



(3) ワークショップ色彩評価集約表

下記表は、次の「色彩の評価集約結果図」に図示している「良い」または「悪い」の囲込み範囲を各班毎にまとめたものです。その範囲は、低・中・高の明度及び彩度の表記を用いています。

区分		A班	B班	C班	
住居系壁面	良い色彩	明度	●全体として低・中・高明度	●全体として低・中・高明度	●全体として低・中・高明度
		彩度	●全体として低・中彩度	●全体として低・中彩度 ●一部高彩度	●全体として低・中彩度 ●一部高彩度
	悪い色彩	明度	●全体として低・中・高明度	●全体として低・中・高明度	●全体として高明度 ●一部低明度
		彩度	●全体として高彩度 ●一部中彩度	●全体として中・高彩度 ●一部低彩度	●全体として高彩度 ●一部低・中彩度
商業・業務系壁面	良い色彩	明度	●全体として低・中・高明度	●全体として低・中・高明度	●全体として低・中・高明度
		彩度	●全体として低・中・高彩度	●全体として低・中・高彩度	●全体として低・中・高彩度
	悪い色彩	明度	●全体として高明度	●全体として高明度 ●一部低明度	●全体として高明度
		彩度	●全体として中彩度 ●一部高彩度	●全体として中・高彩度	●全体として中彩度 ●一部高彩度
住居系屋根	良い色彩	明度	●全体として低・中明度	●全体として低・中明度	●全体として低・中明度
		彩度	●全体として低・中彩度	●全体として低・中彩度 ●一部高彩度	●全体として低・中彩度 ●一部高彩度
	悪い色彩	明度	●全体として低・中明度	●全体として低・中明度	●全体として低・中明度
		彩度	●全体として中・高彩度	●全体として高彩度 ●一部中彩度	●全体として中・高彩度
商業・業務系屋根	良い色彩	明度	●全体として中明度 ●一部低明度	●全体として中明度 ●一部低明度	●全体として中明度 ●一部低明度
		彩度	●全体として低・中彩度	●全体として低・中彩度 ●一部高彩度	●全体として低・中彩度
	悪い色彩	明度	●全体として中明度 ●一部低明度	●全体として中明度 ●一部低明度	●全体として中明度 ●一部低明度
		彩度	●全体として高彩度 ●一部中彩度	●全体として高彩度	●全体として高彩度 ●一部低彩度
班別総括		<ul style="list-style-type: none"> ・壁面、屋根の色の面積によって評価が変わる。 ・アクセントカラーなどの影響もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彩度・明度のバランスによっても評価が変わる。 ・単体では良いが、その色彩の建物が連続していると評価は変わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・許容範囲かどうかということが評価の判断基準である。 	
講評		<ul style="list-style-type: none"> ・今回集約された結果を受け、今後の景観計画において検討しなければならない事項は次のようになります。 ①基調色及び強調色の面積をどのように扱うか。 ②単体建物の色彩のみならず、連続した場合の評価を考慮する必要性。 ③個人（事業者）の好みの許容範囲をどう考えるか。 			